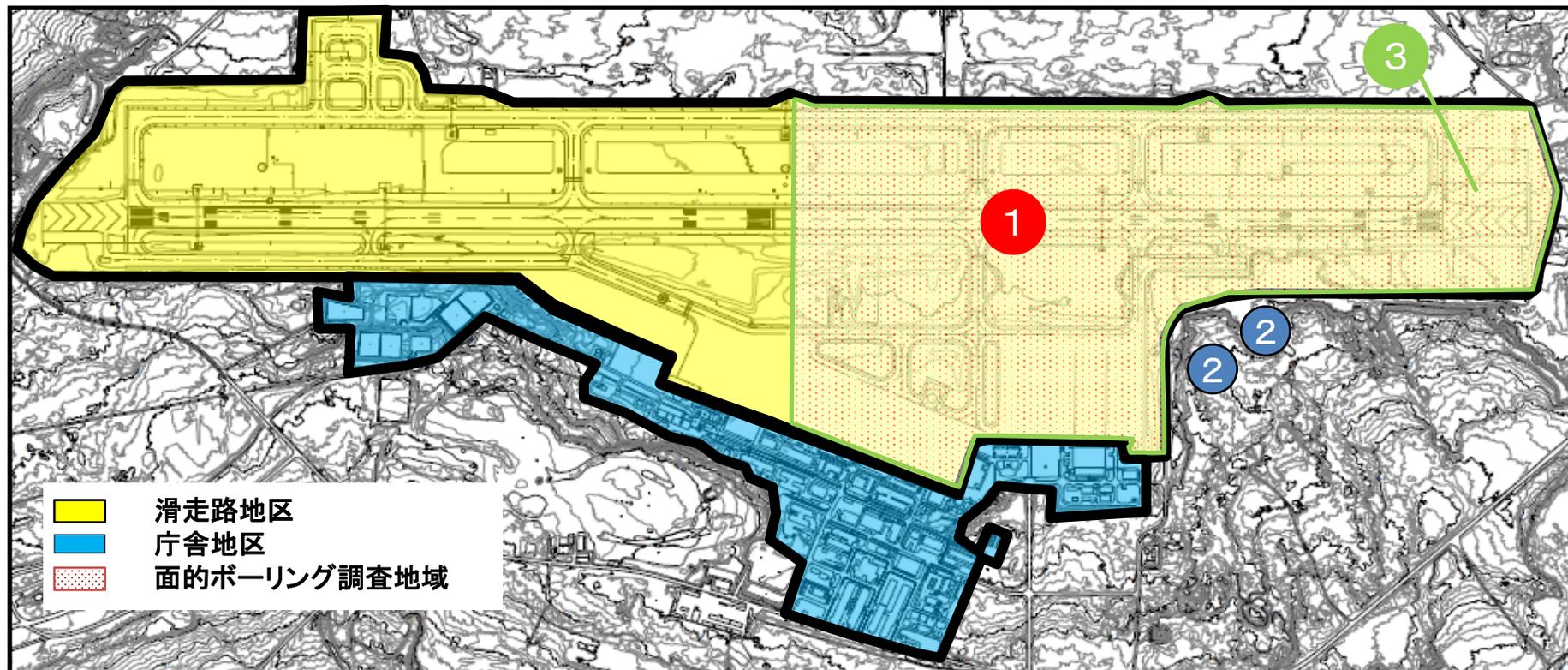


令和4年度の取組状況等①

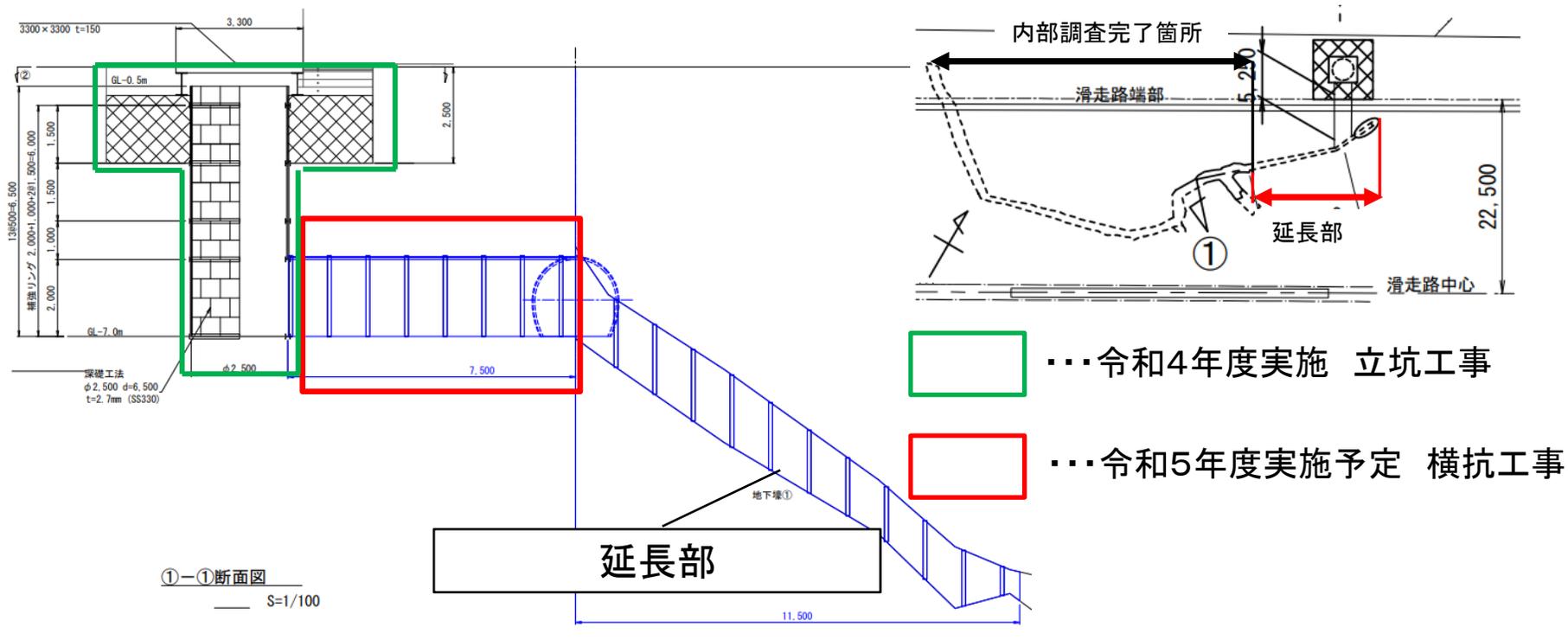
令和4年度実施計画	これまでの取組状況等(令和5年3月31日現在)
○滑走路地区の掘削・遺骨収容	
<p>1 未探索の壕(1箇所)について、閉塞地点の先の延長部へ入壕するための開口工事を実施。(P3)</p> <p>2 滑走路周辺部で確認されている探索済みの壕の構造解析を行い、閉塞地点の先に該当する地上部分でボーリング調査を実施。(P4)</p> <p>3 面的なボーリング調査により、地下20m程度まで滑走路地区東側半面の壕の探査を実施。(P5～P6)</p>	<p>○ この壕からは合計4柱(平成29年度2柱、平成30年度2柱、令和元年度0柱)の御遺骨を収容。平成30年度のボーリング調査により確認された閉塞地点から先の地上に向かっている延長部へ入壕するための開口工事を実施した(令和5年度も工事を継続して実施)。</p> <p>○ 2箇所の壕のボーリング調査を実施した結果、滑走路方向の延長が推定された。今後、延長部分の詳細を把握する。</p> <p>○ 滑走路地区東側半面において、290箇所の面的なボーリング調査を実施。1箇所の壕を確認した。 令和5年度も引き続き面的なボーリング調査を実施。</p>
○外周道路外側の面的調査・遺骨収容	
<p>4 平成26年度～30年度調査区域の面的調査及びその後の調査により確認された壕等からの遺骨収容。(P7～P8)</p>	<p>○ 38箇所の壕等の調査を実施した結果、令和4年度は75柱の御遺骨を収容した。令和5年度においてもこれまで確認された壕等からの御遺骨の収容を実施する。</p>
○滑走路地区周辺以外の地下壕調査	
<p>5 滑走路地区周辺以外の地下壕調査の実施。(P9～P10)</p>	<p>○ 滑走路地区周辺以外の探索済壕の閉塞壕の洗い出し及び面的調査で未発見となっている遺骨・壕等の存在が推測される地点の調査を行った。また、令和3年度に実施した改良型地中探査レーダによる北飛行場跡地の壕の探査結果の分析を行い、7箇所の異常反応点を抽出した。</p>

令和4年度の取組状況等②（滑走路及び滑走路周辺部図）

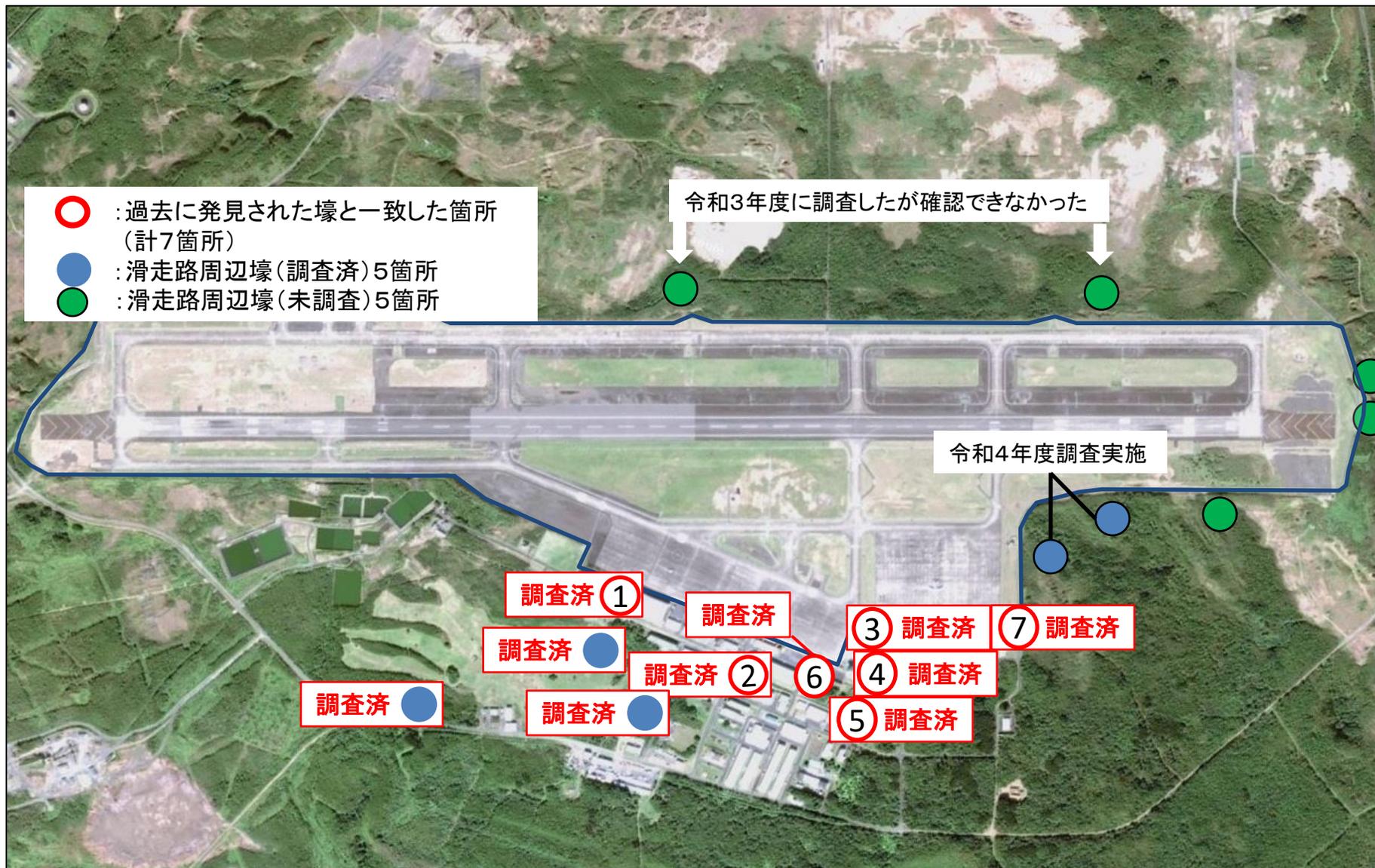


- ① 未探索の壕（1箇所）について、閉塞地点の先の延長部へ入壕するための開口工事。
- ② 滑走路周辺部で確認されている探索済みの壕の構造解析を行い、閉塞地点の先に該当する地上部分でボーリング調査を実施。
- ③ 面的なボーリング調査による、地下20m程度まで滑走路地区東側半面の壕の探査の実施。

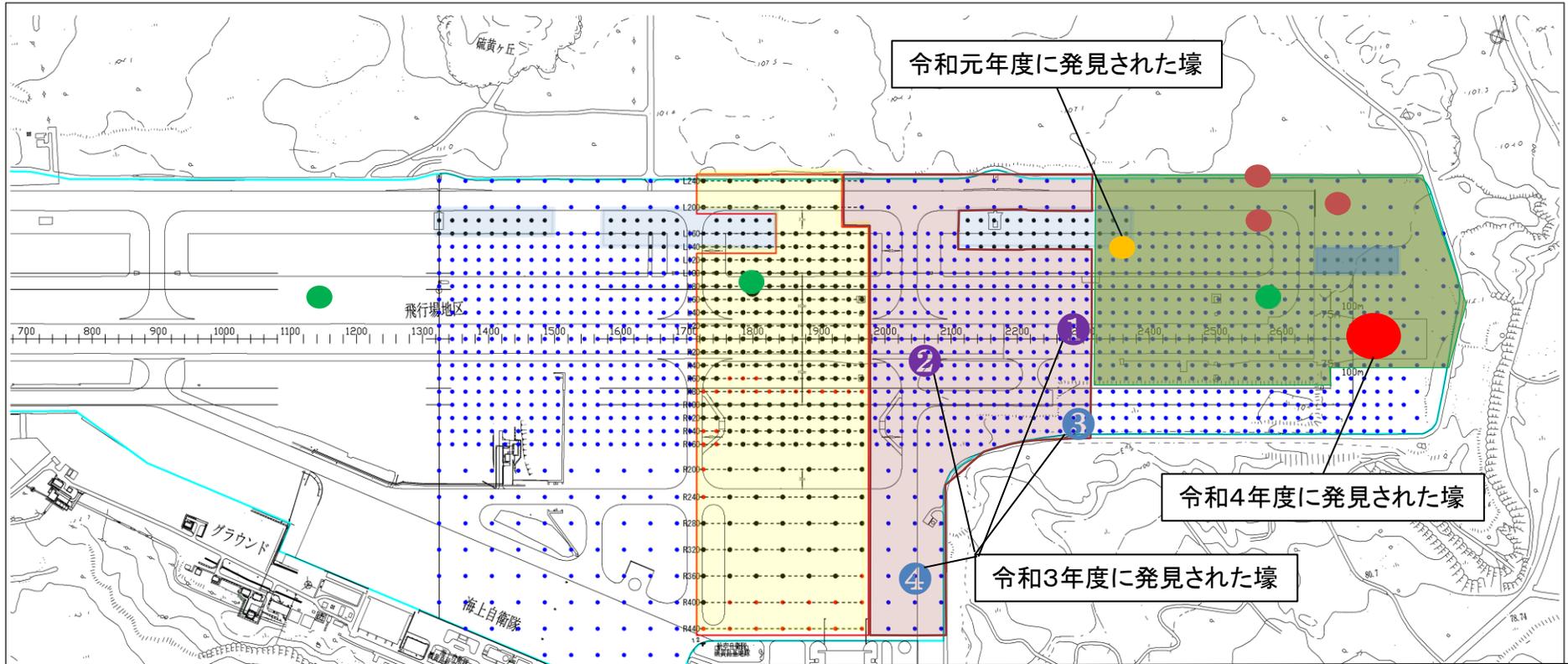
- ・本壕から、これまで合計4柱(29年度2柱、30年度2柱、元年度0柱)の御遺骨を收容した。
- ・令和2年度に、平成30年度のボーリング調査により確認された閉塞地点から先の「延長部」への安全な入壕方法を検討。
- ・令和3年度から開口工事に着手。(令和3年度は地熱対策、電源ケーブルの敷設を実施。)
- ・令和4年度は、延長部に入壕するための開口工事を実施(立坑工事)。
- ・令和5年度は、令和4年度に引き続き延長部に入壕するための開口工事を実施予定(横坑工事)。

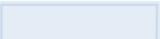
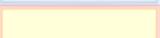


2 滑走路周辺部で確認されている探索済壕の調査の結果



3 面的ボーリング調査の実施状況

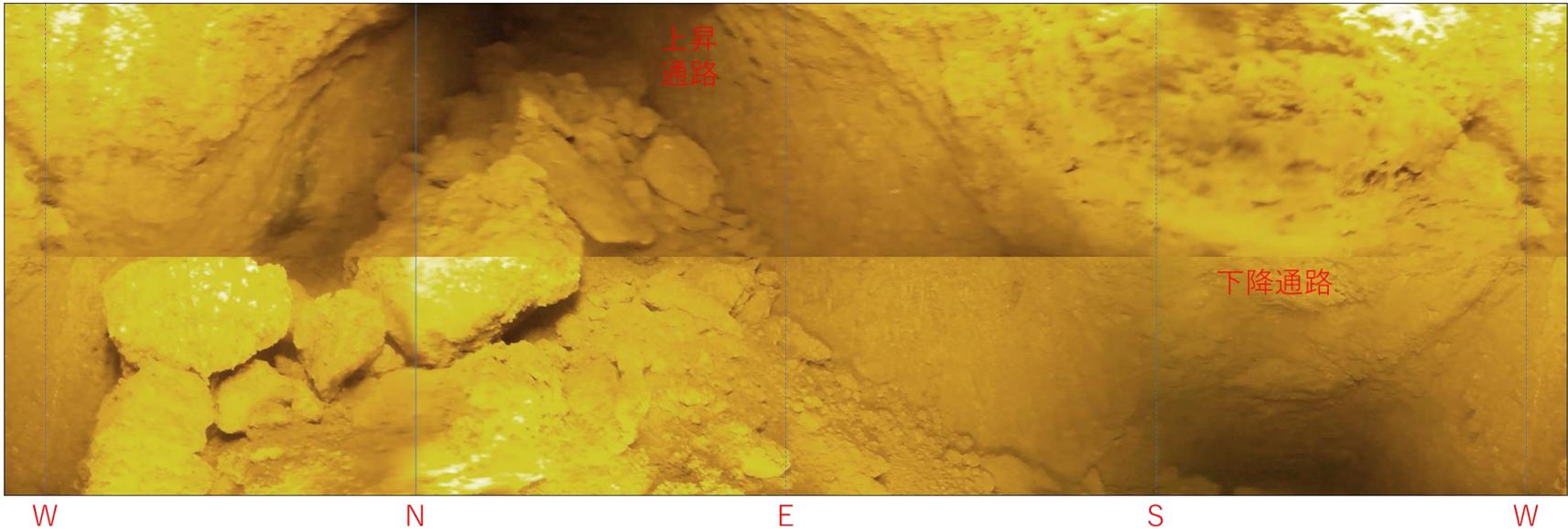
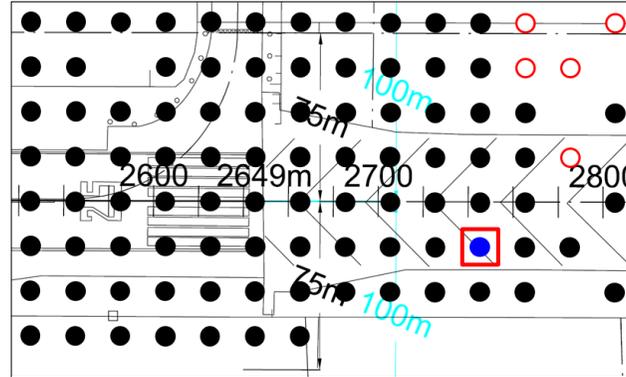
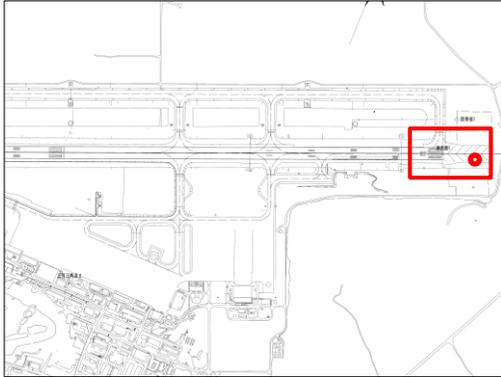


	令和元年度	面的ボーリング調査完了範囲	(105箇所)
	令和2年度	面的ボーリング調査完了範囲	(270箇所)
	令和3年度	面的ボーリング調査完了範囲	(300箇所)
	令和4年度	面的ボーリング調査完了範囲	(290箇所) 残525箇所
	改良型地中探査レーダによる異常反応地点	(令和元年度調査済)	壕無)
	改良型地中探査レーダによる異常反応地点	(令和2年度調査済)	壕無)
	改良型地中探査レーダによる異常反応地点	(令和元年度調査済)	壕有り)
	面的ボーリング調査により発見された壕	(令和3年度)	4箇所)
	面的ボーリング調査により発見された壕	(令和4年度)	1箇所)

3 面的ボーリング調査の実施状況

令和4年度新規発見壕

- ・分布深度：4.70～6.27m
- ・分布方向：N 30° E
- ・地下壕幅：0.8m
- ・100°C前後の蒸気が噴出する地下壕



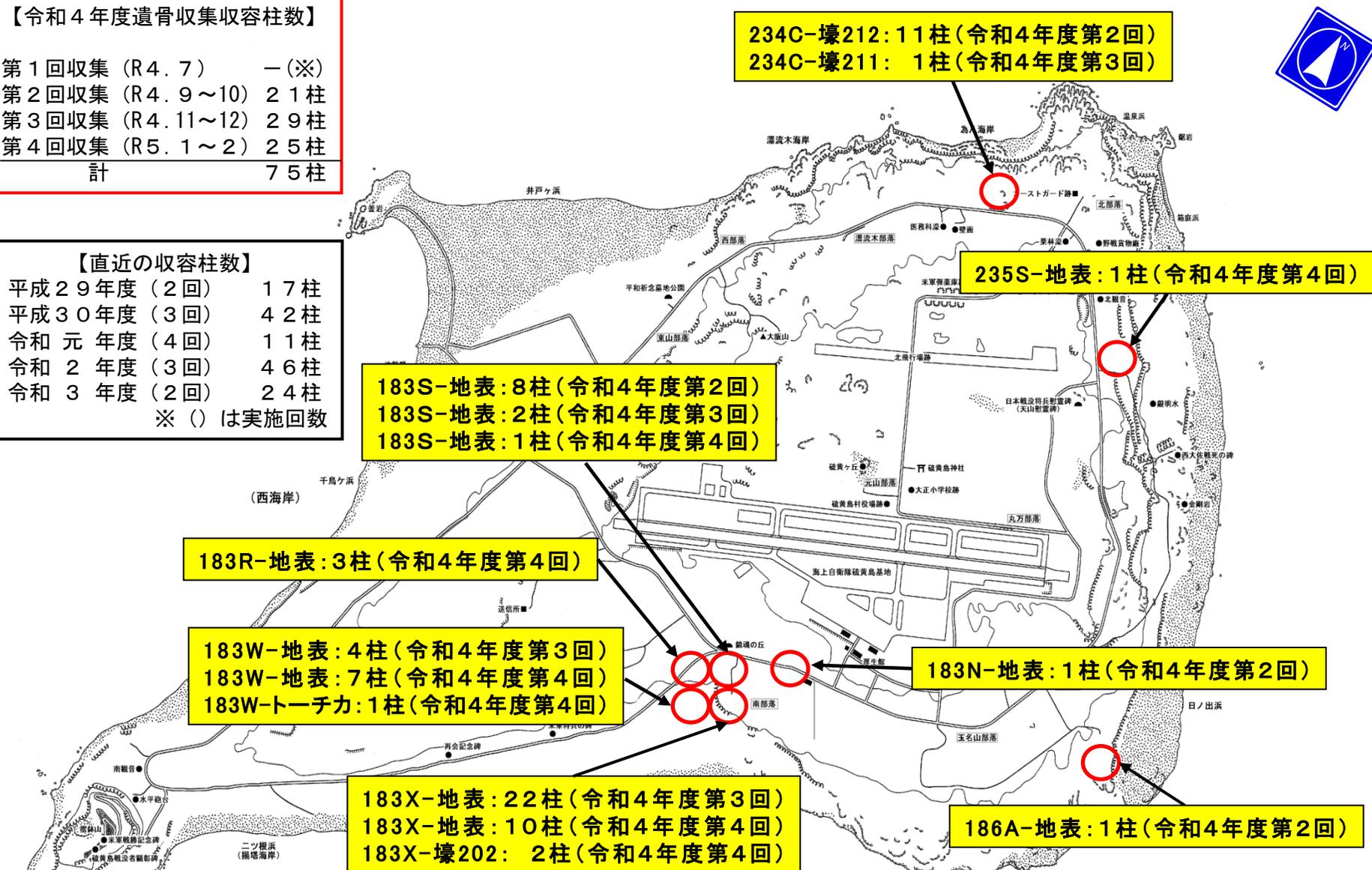
4 外周道路外側の面的調査・遺骨収容①

【令和4年度遺骨収集収容柱数】

第1回収集 (R4. 7)	—(※)
第2回収集 (R4. 9~10)	21柱
第3回収集 (R4. 11~12)	29柱
第4回収集 (R5. 1~2)	25柱
計	75柱

【直近の収容柱数】

平成29年度 (2回)	17柱
平成30年度 (3回)	42柱
令和元年度 (4回)	11柱
令和2年度 (3回)	46柱
令和3年度 (2回)	24柱
※ () は実施回数	



※第1回収集については、遺骨収集帰還団員に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されたことから、日程を短縮した。

4 外周道路外側の面的調査・遺骨収容②

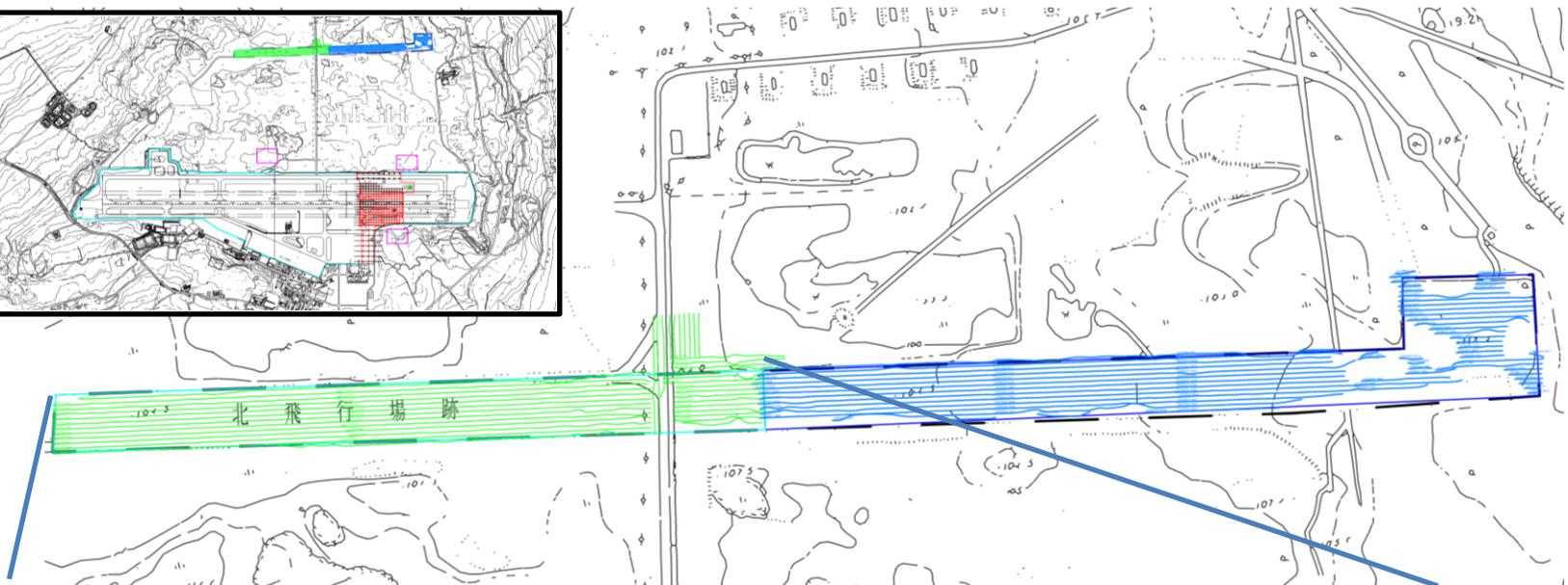
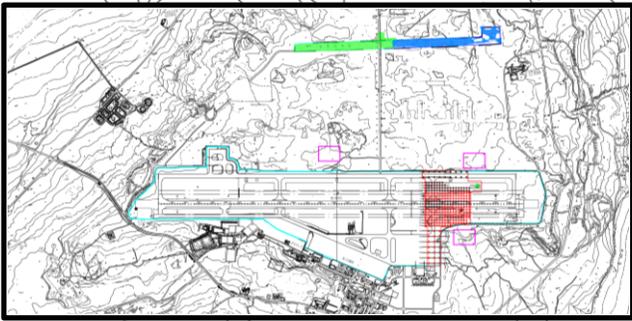
面的調査の結果、発見された壕等において遺骨収容を実施し、その結果、令和4年度は75柱の御遺骨を収容した。



⑤ 滑走路地区周辺以外の地下壕調査①



5 滑走路地区周辺以外の地下壕調査②(北飛行場跡地における地中レーダ探査)



令和4年度 北飛行場跡地地中レーダ探査-解析結果-

